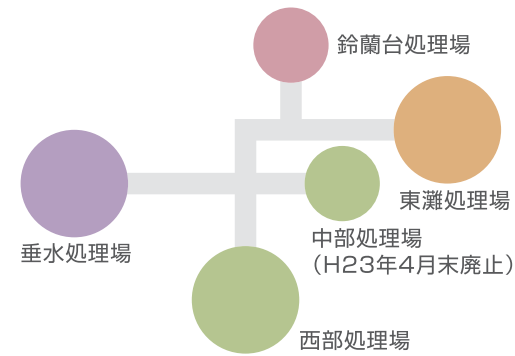


# 神戸市の下水処理場を大口径・大深度の污水管でつなぎ、都市の安全・安心を実現する災害に強い下水道ネットワークシステム

神戸市下水道ネットワークシステムは、神戸市の5つの下水処理場（東灘、西部、中部、鈴蘭台、垂水の各下水処理場）をつなぎ、効率的な処理を可能にする画期的なシステムです。このシステムを活用して平成23年4月末に中部処理場を廃止しました。

山側に位置する鈴蘭台処理場は標高が高いため、他の下水処理場へ汚水を送るのみの一方向の送水となりますが、海側に位置する他の3つの処理場は、相互に汚水を送り処理することができます。



## 通常時の汚水の流れ

通常時は、鈴蘭台処理区の汚水の一部を中央処理区に送り、西部処理場で汚水を処理します。また、中央処理区の汚水の一部を垂水処理場へ送り、汚水を処理します。



## 非常時の汚水の流れ

各処理区に流入する汚水の変動などに対処するため汚水の融通を行います。ネットワーク幹線を通じて、垂水、西部、東灘の各処理場が相互に汚水を送水し、処理します。非常時に1つの処理場が停止した時も同様です。

